平成24年度児童厚生施設運営協議会会議録

日時 平成24年5月30日(水)

午前 10時から

場所 牛飼児童館

(さるびあ館2階 会議室)

進行 櫻井英治

記録 齊藤美穂

出席者

< 運営委員 >

会長 佐々木 京子
委員 菅原 利枝
委員 尾形 剛志
委員 松田 彰洋
委員 須藤 清
委員 齋藤 寧
委員 忽那 香菜子

< 職員 >

子ども家庭課	課長	安部 直司
子ども家庭課	補佐	櫻井 英治
牛飼児童館	主幹	櫻井 弘美
不動堂児童館	主幹	太田 栄子
南郷児童館	主査	伊藤 恵
青生児童館	主査	齊藤 美穂

1. 開会

運営協議会を始める前に委嘱状の交付を行うところでございますが、副町長の到着が公務により遅れますので、委嘱状の交付並びにご挨拶は到着次第とさせていただきます。

これより、平成24年度児童厚生施設運営協議会を始めさせていただきます。

2. 運営委員及び職員紹介

会長から順に自己紹介

3. 会長選出

櫻井補佐 : 美里町児童厚生施設運営協議会条例第3条によりまして会長は委員の互選によるとありますので、自薦、他薦をお願いいたします。

菅原委員 : 今年度も佐々木委員さんに会長をお願いしたい。

櫻井補佐 : 副会長はどういしますか。

忽那委員 : 昨年と同じではどうでしょう。

菅原委員 : 尾形委員さんをお願いしたい。

尾形委員 : 初めてではありますが、それでよろしければできる範囲でお引き受けします。

櫻井補佐 : お二人を承認される方は拍手をお願いいたします。

全員拍手で承認

櫻井補佐：それでは、佐々木会長さんよろしく、お願いいたします。

司会を佐々木会長に代わり、議長となり議事進行

4. 協議事項

佐々木会長：では、協議にはいります。事務局より説明をお願いします。

(1) 平成23年度事業報告について

櫻井(弘)主幹：平成23年年間行事報告 放課後児童クラブに一日の生活
平成23年年間利用状況の順に報告

佐々木会長：質問ありませんか

菅原委員：南郷児童館では5回スポーツ教室を行っていますが、講師を招いて
行っているのですか。

櫻井補佐：講師を招いてはおりません。

菅原委員：南郷児童館の狭い室内外で行っているのですか、または小学校の体
育館やグラウンドを借りて行っているのですか。

櫻井補佐：講師を招くような大々的な教室ではないので、児童館内で開催して
います。今後は経験者などを講師にする教室なども企画していきたい
と考えております。

菅原委員：わかりました

齋藤委員：中卒小学校児童は牛飼児童館へ移動しているようだが、放課後児童
クラブの全体的な問題点などはありますか。

櫻井補佐：中卒小学校は放課後児童クラブが無いので、牛飼放課後児童クラブ
で受け入れをしています。現在、職員が中卒小学校へ迎えに行っ
ております。スクールバスの利用ができないか教育委員会へ要望して
おります。

二点目に、地域で子どものバラつきがあり、不動堂小学校地域の放
課後児童クラブ登録が大変多くなっています。調整が必要でありま
す。

齋藤委員：放課後児童クラブの一日の生活を見て、午後七時まで預かっている
ようですが、午後七時を過ぎる子どもはいますか。

櫻井補佐：各児童クラブとも年に数回はあります。基本は午後七時までですが、
不慮の事故などで遅れる場合は電話連絡をもらい対応しております。

佐々木会長：他にありませんか。

尾形委員：年間利用状況に任意利用とありますが、それはなんですか。

櫻井補佐：児童館は0歳から18歳までの子どもが利用できる施設となってい
ます。就学前は保護者同伴の利用になりますので親子などで利用し

ています。それが任意利用となります。

尾形委員 : だから成人の項目があるのですね。わかりました。

忽那委員 : 児童クラブの年度途中での退館はどんな理由があるのですか。

櫻井補佐 : 年度末に3年生などが、留守番ができるなどの理由で退館することが多いようです。

佐々木会長 : 他にないでしょうか。子どもたち一人ひとりが大切にされている様子がわかります。

では、次の議事に進みます。

櫻井補佐 : 副町長が到着いたしました。ここで議事の途中ですが委嘱状の交付をさせていただきます。

委嘱状の交付

副町長より各委員に交付

あいさつ

遅れてすみません。また、協議の中断をさせてしまい申し訳ございません。大変ご多忙な中、委員をお引き受けいただき感謝申し上げます。

子どもたちに関する事件・事故が多発している中、子どもたちの安全・安心は家庭は基より地域・行政一体となってはたしていきたいと考えております。委員の皆様のご尽力に感謝し、今後ともよろしく申し上げます。

櫻井補佐 : 協議を続けたいと思います。

(2) 平成24年度事業計画について

佐々木会長 : それでは説明をお願いします。

櫻井(弘)主幹 : 平成24年度事業計画を説明

佐々木会長 : ご質問、ご意見はありませんか。

忽那委員 : 小学校内でのトラブルを、児童館に内に持ち込むようなことがありますか、学校との連携はどうですか。

櫻井補佐 : 程度にもよりますが、大きく関わりが必要な場合は学校、親との連携はとっています。

忽那委員 : 実際、たたいたり、ちょっかいを出すような児童はどのように対処していますか。

櫻井補佐 : 指導員を張り付け様子を見るなどの対処を取っています。

忽那委員 : もう一つ質問があります。子どもまつりはやらないのですか。

櫻井(弘)主幹 : 今年度も行う予定です。

菅原委員 : 母親クラブハートネスへの支援は無いのですか。

櫻井(弘)主幹 : ハートネスは解散しました。24年度は活動しないということでした。

櫻井補佐 : メンバーの多忙が主な理由のようです。母親クラブのみならず、地域を支援していきたいと思います。

佐々木会長 : 他にありませんか。なければ進めます。

(3) その他

櫻井補佐 : 震災に関する報告をさせていただきます。牛飼・南郷児童館は建物に大きな被害はありませんでした。青生児童館は浄化槽の大きな隆起があり改修工事を行いました。建物では不動堂児童館の被害が大きかったのですが、修繕に100万円まではかかりませんでした。児童館は2週間程、閉館しました。子どもの預け先がないと親も安心して仕事に戻れないだろうと、早く預かれる環境を整えることを目指しました。

子どもたちはPTSDもなく元気に過ごしております。

佐々木会長 : その他、なにかございませんか。

児童館の皆さんの指導の苦労は、一町民はあまり知りません。見えない努力を伝えていきたいと思います。それでは、議事を終了します。

5. 閉会のあいさつ

安部課長 : 児童館へくる子どもたちの姿を見ると、3年生が2・1年生をガードしながら帰ってきます。年上の子どもが年下の面倒を見るということが自然に身につくようです。年の違う子どもたちの交流がもてルールや決まりを学ぶ場にもなっているようです。留守家庭の子どもの預かり先だけではなく、躰のしっかれできるおばあちゃんの家のような児童館でありたいと思っております。今後とも、よろしくお願いいたします。

6. 閉会

櫻井補佐 : これで会議の一切を終了いたします。大変、お疲れ様でした。

11:10 終了

会議終了後、牛飼児童館見学・解散。